

芳養公民館だより

未来へつながる道
JUNCTION TO THE FUTURE 田辺市

令和4年3月号 No.462

発行：芳養公民館 館長：小川 鏡 主事：宮畑 直弥

住所：田辺市芳養松原一丁目15-8

電話：0739-22-1429 FAX：0739-23-1909



ソフトバレーボール大会は中止となりました

2月24日（木）に開催を予定しておりました芳養公民館ソフトバレーボール大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

参加を予定されていた皆様には大変申し訳ありませんが、次回開催の際には、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

救菜レシピ「総集編第2号」について

3年間にわたり食生活と料理をお助けした「救菜レシピ」は、今号で終了させていただきます。前号に続き、3年間のレシピの中でもう一度お勧めしたい料理を紹介しています。公民館の玄関ロビーに置いてありますので、最後の救菜レシピをどうぞ手に取ってご覧ください。

長い間ご愛読いただき、本当にありがとうございました。

そして5月からは、健口（けんこう）を保つために毎日の食事でお口を救う【口救（こうきゅう）レシピ】を発行します。救菜レシピ同様、皆様に愛される冊子となるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

お問合せ：やすらぎ対策課 高齢福祉係（電話：0739-26-4910）

新型コロナウイルス感染症の予防に努めましょう

全国的に、また、県内においても新型コロナウイルス感染症の感染が拡大しています。厚生労働省では、次のとおり感染予防を呼びかけています。

◇密接しない ◇密集しない ◇密閉しない

《人と会うときは》

- ☑ 人と十分な距離を保つ
- ☑ 混雑している場所や時間を避ける
- ☑ オンラインの利用や時差出勤
- ☑ 屋外でも密接、密集を避ける

《飲食するときは》

- ☑ 少人数・短時間で、大声は避けて
- ☑ ガイドラインを守ったお店で
(アクリル板の設置、消毒、換気の徹底など)
- ☑ テイクアウトやデリバリーも
(お持ち帰り) (宅配)

【厚生労働省公式ホームページより】

令和4年春季全国火災予防運動

火災の発生しやすい時季を迎えるに当たり、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として令和4年3月1日（火）から3月7日（月）までの一週間、全国一斉に「春季全国火災予防運動」が実施されます。住宅火災を防ぐため、次の点に注意しましょう。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント
— 4つの習慣・6つの対策 —

4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使うときは火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

6つの対策

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

【お問合せ】田辺市消防本部 予防課（電話：0739-26-9954）

3月の古紙回収予定日(第1・第3 火曜日)

1日(火)・15日(火)

- ◎当日の午前中に、芳養公民館前の駐輪場スペースに出してください。
- ◎回収できるものは雑誌・新聞・ダンボールです。
- ◎必ず紙ヒモでくくってください。

※回収日以外、回収できませんので持ち込まないでください。



芳養小学校



令和3年度

第11号

健・考・和

文責 木村 真由美

TEL 22-1422

地域の力

芳養小学校は本年度から2年間、「社会を明るくする運動」協力校に指定されています。「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱し、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支える全国的な運動として、保護司会が中心となって各地域で様々な活動が展開されています。芳養小学校は指定協力校として、犯罪や非行が起きない明るいまちづくりに学校ぐるみで協力し取り組んでいます。

取組の一つとして今年度は、「社会を明るくする運動」作文コンテストに6年生6名が応募しました。その中で、横山輝依さんの作文『地域の力』が県審査において見事「優秀賞」に選ばれました。

芳養っ子を育てる会に参加して・・・

横山さんは、夏休みにお母さんと一緒に「芳養っ子を育てる会」に参加し、そこで見聞きした保護者や地域の方の姿や言葉から感じたことをもとに、明るいまちづくりについて考えたことを作文で綴りました。

(作文『地域の力』一部抜粋)

保護者の方から一番多く聞かれた言葉が、「子供たちをいつも地域の皆さんで見守って頂きありがとうございます。」といった感謝の言葉でした。なぜなら、芳養地区の地域の方々はとても温かく、登校時の交通指導や放課後のふれあい教室など、私たちの安全や成長をいつも見守ってくれているからです。

しかし最近ではコロナウイルスの影響でふれあい教室が開かれない時期が続いたり、色々な行事が中止になったりと地域の方と距離を取らなければいけない日々が続いています。芳養っ子を育てる会で地域の方の意見として多く聞かれたのは「早くふれあい教室を再開させてほしい。」「学校に行かせてほしい。」という言葉でした。地域の方々も私たちと交流することで自分たちもパワーをもらっているとおっしゃってくれました。その言葉を聞いてとてもうれしい気持ちになりました。なぜなら支えられているだけでなく、支え合っていると感じたからです。この地域で生まれ育ったことも誇らしくも感じました。・・・

作文の最後は、「社会を明るくするためには、地域とのつながりがかかせないものだと考えます。」と結んでいます。

横山さんの作文はもちろんのこと、他の5名の子供たちの作文もよく考え、まとめられた良い作品でした。地域の方の温かさや日頃から自分たちを見守ってくださっていることへの感謝の気持ちが表れた作品、また、いじめを題材に自分の考えを述べた作品など、それぞれの視点で明るい社会、安心安全な社会について考えたことが綴られていました。できるだけ多くの子供たちや保護者・地域の方に紹介する機会があればと考えています。

大坊小学校

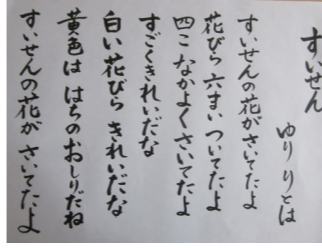


清く 高く のびのびと 3月号

～子どもの姿に成長が見える学校をめざして～



校舎裏で、かわいい寒ザクラが花を咲かせています。枝を玄関に飾って「どこに咲いているのかわかりますか？」と張り紙をしていたところ、ほとんどの児童が知りませんでした。職員が、「こんな花も学校にありますよ。」と、花が咲いていたウメ、スイセン、ツバキ、サザン力を持ってきてくれ、それも生けました。



2年生5人の合作の詩

先日の紀伊民報にウメ、スイセン、ジンチョウゲは春の訪れを祝う「三君」、ウメ、サザン力、スイセン、ロウバイは「雪中の四友」と呼ぶとありました。大坊小学校にも春が近づいています。

福祉学習 ～車椅子使用者の方に学ぶ～

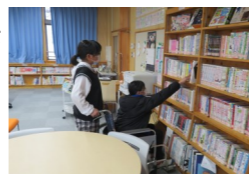
5・6年生が、大坊地区在住の車椅子使用者の松上京子さんにお話を伺った後、車椅子体験をしました。

松上さんが「車椅子生活になったきっかけ」「家の中の工夫・便利な道具」「車椅子生活になった4年後に行ったアメリカ、カナダでの留学時のこと」を話してくれました。最後に、子どもたちに「障がいのある人も同じように生活をしていることを知ってほしい。だけど、何もかも全部自分でできるわけではない。困っているとき、『大丈夫ですか、お手伝いしましょうか。』と声をかけてほしい。『心のバリアフリー』という言葉があるように、いろんな人がいて、困っている時にお互いが助け合える世の中になってほしい。」と伝えてくれました。

車椅子体験では、「こんな見え方するんや。」「ゆれるとこわい。」などの声が聞こえてきました。

【児童の感想】

- 松上さんの車は、手でアクセルやブレーキができる車とはじめて分かりました。家の中も、生活しやすいようにすごく工夫しているなあと思いました。
- 障がいのない人だけが、障がいのある人を助けるのではなく、障がいのある人も障害がない人を助けることができると分かりました。松上さんが（助け合うことが）「お互いさま」とおっしゃっていたので、その通りだなと思いました。
- 「心のバリアフリー」についても考えてみようと思いました。



なわとび大会

毎年、大坊小学校では2月になわとび大会を保護者の方に参観していただいています。今年はコロナウイルス感染症まん延防止のため参観はできませんでしたが、2月18日になわとび大会を行いました。

一生懸命練習した成果をみんなに見てもらおうとともに、友だちの応援も一生懸命していました。この大会に向けて練習してきた班対抗の八の字跳びも上手になっていました。赤班が179回（1分×2回）で優勝しました。

明洋中学校



「自主・自律・連帯」 3月号

～それぞれの夢に向かって～

校庭の木々の芽のふくらみにも、春の訪れが感じられる季節となりました。地域・保護者の皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、3月に入り、中学校では卒業の時を迎えました。今年の卒業生は72人です。それぞれが自分の夢に向かって力強く歩いてほしいと思います。

◇令和3年度学校アンケートを実施しました

明洋中学校では、毎年保護者の方を対象に学校アンケートを実施しています。本年度は164人、全体の73.8%の方々に回答いただきました。いただいたご意見をこれからの教育活動に生かしていきたいと思っております。一部抜粋して紹介します。

A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない E わからない (%)

項目	A	B	C	D	E
「自主・自律・連帯」の校訓を生かした教育活動を行っている	40	49	1	0	10
教員は、楽しくわかりやすい授業をしている	29	47	5	2	17
学校は、いじめや暴力等の防止に努めている	34	43	3	2	18
学校は地震などの避難体制を整え、安全教育に努めている	44	48	1	0	7
子供の家庭での学習時間は十分である	17	29	28	21	5
学校のコロナウイルス対応はほぼ満足できる	62	33	1	0	4

◇村山 典子（むらやまのりこ）教諭

「和歌山県きのくに教育の匠」の称号を受賞

本校の音楽科の教師であり、プラスバンド部の顧問でもある村山典子教諭が、本年度の「和歌山県きのくに教育の匠」の称号を受賞しました。

村山教諭は、音楽の授業や部活動を通して生徒に音楽の楽しさを味わいさせながら成長を促すとともに、本校や地域はもちろんのこと、田辺市や和歌山県の教育の発展・充実に大きく貢献したことが認められ、受賞しました。



佐武教育長に受賞を報告

◇プラスバンド部 和歌山県ソロコンテスト

2月13日（日）開智ホール（和歌山市）にて、和歌山県ソロコンテストがあり、2年生の金城さんがみごと金賞に輝きました。

○金賞 金城 虹心（きんじょうにこ）【2年】
楽器：テナーサクソ

地域・保護者の皆さま方

本年度1年間ありがとうございました。
来年度もよろしくお願ひいたします。

明洋中学校職員一同